

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	R2年 2月14日	
記入者	団体等名	手をつなぐ育成会
	記入者名	酒巻 幸代
	部署名	障がい福祉課
	記入者名	鈴木 裕規

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	第3回屋内スポーツ大会	
事業の実施者	団体等	手をつなぐ育成会
	行政	障がい福祉課
事業の目的	障がい者スポーツの推進及び交流の促進。 障がいを持つ人も持たない人もともに参加し、ルールや道具を工夫して一緒にスポーツを楽しむ。	
事業の内容	実行委員会を立ち上げ、「屋内スポーツ大会」の企画及び運営に関する協議、関係機関との連絡調整を行い、「屋内スポーツ大会」を実施。大会は全6種目の競技を自由に体験する第1部(午前)と、なまりんフレンドリーカップと称した卓球バレー&ポッチャ大会を開催する第2部(午後)の2部構成で実施。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実行委員会 3回 役員会1回 開催 屋内スポーツ大会 令和元年12月8日に実施 参加者201名	
協働事業決算	総額 49,488円(一般会計 29,488円 協賛金 20,000円)	
	簡単な内訳	大会当日役員・ボランティア弁当代 26,520円 大会消耗品(カラーペーパー、賞状用紙、ラインテープ、景品等) 22,968円
実施期間	令和元年8月9日 から 令和元年12月8日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和2年1月31日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 来年度は企業等にも参加を呼びかけ、就労等につながる取組をしたい。  【行政】 同上。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 詳細な改善策については来年度の実行委員会で検討していく。  【行政】 同上。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 2年 2月 7日	
記入者	団体等名	吉川市民まつり運営委員会
	記入者名	立原 司朗
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	鈴木 沙織

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	吉川市民まつり助成事業	
事業の実施者	団体等	吉川市民まつり運営委員会
	行政	市民参加推進課
事業の目的	吉川市民まつり運営委員会に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、市の物産品や市内企業の PR 及び活性化を目指し、より一層ふるさとづくりを推進することを目的とする。	
事業の内容	市民が互いに交流を深め、コミュニティづくりの推進を図るとともに、市民文化の向上や農業・商工等の振興に寄与するため、吉川市民まつり運営委員会を設置し、市民が主体となった企画・運営で市民まつりを開催する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	開催までに、市民を委員とした運営委員会等を計6回行い、企画等の意見を交わした。まつり当日は市内外から多くのお客様が来場し、大いに賑った。来場者アンケートでは「また来たい」との回答を99%いただき、多くの来場者から「毎年楽しみにしている」との声もいただくことができた。	
協働事業決算	総額	3,797,073 円
	簡単な内訳	印刷費(221,700 円)、会場費(3,256,451 円)、備品購入費(68,550 円)、消耗品費(24,192 円)、イベント事業費(39,190 円)、交流事業費(180,000 円)、事務費(6,990 円)
実施期間	令和元年 5月29日 から令和2年 2月 6日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日：令和2年2月6日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 販売時間の周知方法や搬出入ルール、行列をスムーズに整列させることが出来るテント配置等について行政と共有し、解決策について意見交換した。 【行政】 昨年度の市民まつりを開催した際に挙げられた課題をもとに、販売開始時間の周知を図るための方策や、搬出入ルールについて話し合った。また、市民まつりをより一層盛り上げるためのイベントについてアイデアを出し合い、実現に向けて話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 今年度は、運営委員長による開会宣言及び花火打ち上げの時間と、販売時間周知札の時間のズレがあったため、販売時間周知札の文言を改善したい。搬出入ルールについて、搬入時間を守らない団体が見受けられたとの報告があったため、次年度は搬出入ルールの周知徹底について話し合いたい。前年度課題として挙がっていた搬出時間前の道路上の混雑については、事前に課題共有し、声掛けを促したため解決に至った。 【行政】 市民まつり来場者及び出展団体アンケートで出された意見を団体・行政間で共有したうえで、各委員から改善のための取り組みについて意見を出していただいた。出された意見については、来年度の運営委員会に引き継ぎ、次年度の市民まつりに向けて具体的な運営方法を検討していく。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和元年8月8日	
記入者	団体等名	To Going Concern for Women
	記入者名	代表理事 吉川真由
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	相川美佐子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	Dream for women & children	
事業の実施者	団体等	To Going Concern for Women
	行政	市民参加推進課・商工課
事業の目的	子育て支援・女性の社会進出への貢献	
事業の内容	女性起業家のさまざまな出店の体験などを通じ、来場者との出会いやふれあいなどによって、普段頑張っているママや女性だけでなく子供達も1つの空間で癒され笑顔になれるフェスタの開催	
事業の実績	<p>■開催日時 令和元年7月5日(金) 午前10時～午後3時</p> <p>■来場者 約400人</p> <p>■内容 物販、ワークショップ、ネイル、飲食販売、託児、写真撮影ブース、ステージ演目など</p>	
協働事業決算	総額 89,000円	
	簡単な内訳	<p>収入 89,000円</p> <p>・出店者協賛金及び出店料</p> <p>支出 80,120円</p> <p>※差額8,880円は次回フェスタ会場費等に充当 参考:会場費5~10万</p> <p>・交通費</p> <p>・交際費(出演者謝礼金)</p> <p>・通信費(FAX・電話等)</p> <p>・雑費(チラシ作成等)</p>
実施期間	令和元年7月5日(金)	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和元年7月31日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 今年度の開催は、準備段階ともに前回で慣れている理事などの協力があり、素早くできた。 また、今回は理事の中で共有部分を増やし、お客様にいかに楽しんでもらうか、出店されている女性起業家の方にいかに安心して出店してもらえるか、という点に重点を置いた。その点は、うまくいった。 一方で、フェスタの流れとしては前回同様の部分が多かったため、昨年度と比較し、目立って良かった部分もなかった、という印象もある。 <b>【行政】</b> 今回、商工課の協力を得て、当日、当課と商工課各1名ずつで受付を担当した。平日開催だったが、多くのお客様が途切れることなく訪れ、ゆっくりとフェスタを楽しまれていた。初参加の商工課職員からは「会場のゆったりした空気感が、ママたちに安心感を与えてくれるのでは」との感想。子育て支援課の職員も会場を訪れていた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 継続していくことが大切であり、毎年恒例の行事ということで、来年度も継続していきたいと考えている。 今回、昨年度と比較してあまり代り映えがなかったという感もあり、次年度はさらにパワーアップし、より一層、「一つの空間で笑顔になれる」場所の提供ができるようにしたいと考える。 <b>【行政】</b> 多様な働き方を後押しする当イベントは意義深い。 また、今回から、就労や起業の担当課である商工課も協力することができた。 来年も継続するという事なので、会場確保やイベント周知など、協力していきたい。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	2019年 8月 26日	
記入者	団体等名	ワークショップ楽えん
	記入者名	代表 成田 寿子
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	片桐 駿介

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	二胡音楽交流演奏会	
事業の実施者	団体等	ワークショップ楽えん
	行政	市民参加推進課
事業の目的	中国の伝統楽器二胡の紹介と音楽での文化交流 二胡の演奏や様々な楽器演奏や歌などで音楽を通じて交流を深める音楽交流演奏会	
事業の内容	音楽交流演奏会では二胡演奏のほか様々な楽器や歌との共演 吉川市、台湾、中国の街をご紹介、台湾のデザートやお茶などの飲み物を販売 入場者の皆様と一緒に童謡「ふるさと」を中国語で歌う	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	【参加者数】 入場者 63 人、出演者 30 人、ボランティア 1 人、ゲスト 1 人 合計 95 人	
協働事業決算	総額	116,711 円
	簡単な内訳	【収入】116,711円 参加費 56,000円 事業費 30,000円 協賛金 30,000円 寄附金 711円 【支出】116,711円 広告費 18,748円 会場費 3,050円 会場装飾 1,944円 謝礼・食費 84,800円 雑費・寄附金 8,169円 【収支】 0円
実施期間	令和元年8月10日	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和元年 8月23日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 吉川市、台湾のご紹介に加え、中国珠海市の紹介と中国語での文化交流を行った。協力団体として国際友好協会の中国語教室の生徒の発表を行なった。音楽交流では二胡演奏の他に、オカリナサークル、ワークショップ楽えんのアーティストとの共演や、中国語で歌う「ふるさと」が好評だった。 <b>【行政】</b> 前回の開催から主催団体と市民、市民団体の交流がさらに進み、音楽演奏だけにとどまらない様々な内容が実施され、好評だった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> アジアの国々の文化の紹介や市民との交流の時間を作りたい。また、他市のサークルや教室などの方々と音楽交流もできるようになればと思う。 <b>【行政】</b> 台湾などの外国出身の市民が多く参加する事で、より一層交流が深まると感じた。		



## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 元年 6月 14日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	環境展 2019	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課
事業の目的	環境団体や企業の環境活動をパネル等で展示するとともに、体験講座を通して環境の大切さを多くの市民へ伝える。	
事業の内容	①環境団体、企業の環境活動、県や市のパネル展示。 ②栄小学校の校外授業の実施。 ③緑のカーテンの普及、啓発PR。 ④環境体験講座の実施。 ⑤SDGsのPR及び宣言文の募集。 ⑥エコグッズ等の販売及びスタンプラリーで花の苗等プレゼント。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	令和元年6月6日(準備)から6月8日 来場者数 330名(2日間合計)	
協働事業決算	総額	49,100 円
	簡単な内訳	・ポスター・チラシ作成・印刷 3,300 円 ・展示物作成 2,500 円 ・体験講座の材料代 23,800 円 ・プレゼント用品代 9,500 円 ・スタッフ代(延べ112名) 10,000 円
実施期間	令和元年6月6日(準備) から令和元年6月8日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和元年6月14日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 各所との情報伝達は円滑に進み、無事に終了することができた。今回は2日のみの実施なるも、体験講座をホール内で集中してやる事で、ほぼ平年並みの参加あり。 【行政】 今年度は2日間集中開催となったこと、ホール一括で各種体験講座を実施したことで集客の効果はもちろん、高齢化するスタッフの負担減にもつながった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 参加者の大多数が子供だった事から、大人へのPRに工夫したい。ポスターを学校、公共施設以外に、店舗や駅等の人通りの多い箇所への掲示を考慮。 【行政】 引き続き、団体との連携を深め、事業を実施していきたい。 来年度はSNSを使った広報も行う。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 元年 8月 2日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	環境学習出前講座事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課 環境保全係
事業の目的	自然環境の保護、資源の有効活用等々により、安心、安全、快適な暮らしの維持が出来る事を体験等を通して学ぶ。	
事業の内容	1 講座メニューの作成及び関係部署への広報 2 講座の申し込み受付 3 講座の実施に際し、関係部署との調整（日時・場所・人数の確認、資材の分担調整） 4 講座の実施 5 講座実施後のフォロー	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実績:60講座 小学校環境学習教室:36講座 その他市民向け体験講座:24講座  参加者:栄小、旭小、三輪野江小、関小、美南小児童及びPTA、ほか市民多数	
協働事業決算	総額 146,000円(内委託事業費:85,450円)	
	簡単な内訳	1 教材代 65,000円 2 資料代 5,500円 3 講師料(含むスタッフ) 76,000円(95工数)
実施期間	令和 元年 4月 20日 から 令和 元年 7月 19日(一部11月初旬) まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。(○×式)

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	△	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和 元年 8月 8日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 1 継続事業の為、講座の内容も現状及び学校の要望を踏まえメニューの一部を改訂した。 2 委託事業分として小学校等へ36講座、市民啓発主体に独自で24講座の計60講座実施、意義大 【行政】 メニュー表の作成、配布を4月上旬に行い教頭会にて各学校へ周知した。 今年度は美南小学校に参加いただき、昨年度より小学校からの申込が多く、実施講座を増やすことができた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 1 学校へのアプローチを早くし、日程に余裕を待たせる事で、学校及び講師共々に講座内容の充実。 2 学校に対して責任の所在を明確にする為に、両者(行政も)が立ち合いでの実施が望ましい。 3 自治会の夏休みに開催の「寺子屋」及び社協のボランティア体験を支援し、対象範囲の拡大に努めた。 【行政】 責任所在については、引き続き行政職員が小学校の座学講座に立ち合うことを両者間で決定した。 講師の高齢化に伴い、野外講座等に補佐が必要。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 2 年 2 月 13 日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	環境フェスティバル2020	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課
事業の目的	小学生及び市民の環境学習成果発表・活動報告に関する後援を通じて、市民へ環境保全の大切を発信する。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境団体、企業の環境活動、小学校の環境活動の展示。</li> <li>2 栄小学校の環境活動成果の発表。</li> <li>3 旭 小学校及び三輪野江小の環境活動成果の発表(ビデオにて)。</li> <li>4 講演1;WWFジャパン・伊藤小百合氏 [私たちの暮らしと熱帯雨林をつなぐもの] 講演2;田んぼソムリエ・林 鷹央 氏 「田んぼソムリエになろう! ~身近な生き物探し~</li> <li>5 SDGs紹介</li> <li>6 中山市民生活部長の開会挨拶、戸張教育長の講評</li> </ol>	
事業の実績	参加人数:197名 小学校18名、吉川美南高校4名、講師2名、市民生活部長、教育長、越谷環境管理事務所長含め3名、小松川工専工業副会長、環境部会長、市民127名、企業14名、環境ネットワーク20名、環境課5名	
協働事業決算	総額 112,514 円	
	簡単な内訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発表校(含むパネル展示)支援 10,620円</li> <li>2 発表記念・参加記念 22,994円</li> <li>3 講師謝礼(含む交通費) 48,000円</li> <li>4 事務費用(ポスター・チラシ印刷含む) 26,900円</li> <li>5 SDGs発表 4,000円</li> </ol>
実施期間	R1 年 9 月 (準備) から R2 年 2 月 8 日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

話し合いをした日：令和2年2月11日

### ③ふり振り返り段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 開始当初から頻繁に情報共有し、他所へは協働で対応した事から、円滑にしかも大盛況で無事終了する事が出来た。 <b>【行政】</b> 環境講演を2講演、ビデオ発表も含め環境学習発表校が3校あり、過去3年で最も内容の多いプログラムとなり来場者からも好評であった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> ポスター、チラシ及びマスコミの活用等の広報活動の拡大で、発表校及び中・高校への参加を呼び掛け等で輪を広げたい。 <b>【行政】</b> 会場施設の仮予約は、事業終了直後に行う。 参加者・参加校の減少が引き続き課題であり、早期の講師の選定、各学校への参加依頼、広報活動の工夫が必要である。環境出前講座を利用された学校に参加いただける場合が多いため、出前講座の利用促進も力を入れる。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 元年 8月 2日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	緑化推進事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課環境保全係
事業の目的	ゴーヤのカーテンの設置を希望する公共施設に対して、ゴーヤの苗を配布し施設管理者調整の上、設置作業を実施する。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 苗の準備(含む育苗)</li> <li>2 環境課に希望申請した公共施設に、苗を配布(5~6月)。</li> <li>3 施設管理者からの希望により、苗植作業の実施。</li> <li>4 施設管理者に、水やり等の管理の指導及び情報提供。</li> <li>5 施設管理者の希望により、ネットの取り外し作業の実施(10月頃)。</li> <li>6 環境課は公共施設との連絡窓口</li> <li>7 問題発生時は双方で競技の上対処する。</li> </ol>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	旭地区センター、市民交流センターおあしす、老人福祉センター、少年センター、東部市民サービスセンターで実施	
協働事業決算	総額 61,020 円(内委託費 42,350円)	
	簡単な内訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 種代 34,000円</li> <li>2 堆肥等育苗 22,000円</li> <li>3 ネット張り用の縄 5,000円</li> <li>4 スタッフ人件費は実績には計上せず(委託費には含む) (担当3名、延べ70工数)</li> </ol>
実施期間	令和元年年 5月 1日 から 令和 元年 7月 31日(一部10月末) まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和 元年 7月31日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 1 3月に種を購入及び育苗を開始、年度初の確認通りに、前広に対応出来たものの苗の発育が悪く（天候の影響）苦労した。 2 早期に確認打合せが出来た事で、円滑に進んだ。 【行政】 早期に公共施設等と日程調整・連絡ができ、当初計画どおり事業を実施できた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 1 作業開始前に、業務内容の確認と役割分担等の確認が重要。 2 市役所での実施がなくなったのは寂しいが、今後は市民啓発及び企業へ注力。 【行政】 日程調整だけでなく作業人員、作業内容について団体と確認が必要。 担当スタッフの高齢化に伴い来年度以降の事業継続の検討が必要である。		



## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和2年 1月 29日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	市民生活部環境課
	記入者名	高橋 良幸

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	マイバッグ推進事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課
事業の目的	市内のスーパーマーケット等において、マイバッグについての意識調査、利用状況調査を行い、併せてマイバッグの利用促進のPR活動を行う。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 啓蒙用の掲示板作成</li> <li>2. 環境課と相談の上、店舗においてマイバッグとマイクロプラスチック問題についての意識調査及び啓発活動を実施</li> <li>3. 雑がみ分別の実施状況について意識調査</li> <li>3. アンケート調査等で、認知度調査を100人以上目標に実施</li> <li>4. 集計結果の報告</li> </ol> <p>※マイクロプラスチック問題については、国がレジ袋有料化を決定したことと海洋マイクロプラスチック問題の広がりを受けて啓蒙活動に加えた。</p>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	6月7・8日「環境展」(於;おあしす)、7月24日夏休みワクワクエコ教室「マイバッグづくり体験」、10月25～27日「イオン吉川美南店」、11月17日「吉川市民まつり」	
協働事業決算	総額 50,700円(内委託事業費46,200円)	
	簡単な内訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 啓発用掲示板作成及び啓発グッズ製作 26,700円</li> <li>2. スタッフ(30工数) 24,000円</li> </ol>
実施期間	平成元年 5月 1日 から 令和2年 1月28日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和2年 1月28日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 1. レジ袋有料化が国の施策として決定し、今後はその徹底が大事。 2. 海洋マイクロプラスチック問題がクローズアップ、ノーレジ袋と合わせて運動の巾を広げたい。  【行政】 1. レジ袋の有料化が決定したことを契機に、これまで関心を示していなかった市民に対しても、海洋マイクロプラスチック問題と併せマイバッグ利用の意識付けを行える機会と捉えている。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 1. ノーレジ袋運動及び海洋マイクロプラスチック問題啓発と一体となった取り組みをする。 2. エコショップ店舗と協働での活動と運動の巾を広げる。  【行政】 1. 本年度は、新たな意識調査の方法を試みたが、次年度についても市民が興味を示し意識付けぬも繋がる効果的は啓発活動を行いたい。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 2 年 2 月 14 日		
記入者	団体等名	吉川ほたるの会	
	記入者名	会長 森田 保	
	部署名	産業振興部 農政課	
	記入者名	新實 真生	

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	市民農園ほたる鑑賞会		
事業の実施者	団体等	吉川ほたるの会、吉川市市民農園管理組合	
	行政	吉川市産業振興部農政課	
事業の目的	地域の活性化を目指し、吉川市市民農園内において市民向けのほたる鑑賞会を開催する。		
事業の内容	今年度完成したほたるドーム内で鑑賞会を実施した。また、打上花火、田んぼバー、ミニマルシェも同時開催し、イベントの少ない旭地区で夏祭りをイメージした鑑賞会を開催することができた。		
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	開催日数:2日間 来場者数:1日目 730名、2日目 530名 合計:1260名		
協働事業決算	総額 89,122 円		
	簡単な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ弁当代:65,000 円</li> <li>・飲み物代:24,122 円</li> </ul>	
実施期間	令和元年 6月 29日 から 令和元年 6月 30日 まで		
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助		

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和元年 7月10日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 屋外鑑賞ゾーンや、駐車場などの安全管理。 来場者用駐車場の確保や、よりよい鑑賞会場のレイアウトの検討が必要。  <b>【行政】</b> 来場者用駐車場の確保や、よりよい鑑賞会場のレイアウトの検討が必要。 ほたるドームで実施するのは初めてだったので安全確保が必要。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 鑑賞会場のレイアウトの検討を行う。 より充実したイベントの開催を目指す。  <b>【行政】</b> 消防団やほたるの会会員と連携して参加者の安全確保に努める。 来年度はほたるドームも完成するので、多くの集客を見込める。		